

# 鳳陽

第185号

令和7年9月15日

発行所 一般社団法人 鳳陽会  
(山口大学経済学部同窓会)

〒753-0089 山口市亀山町3-1

TEL・FAX (083) 924-4361

E-mail: houyou99@crocus.ocn.ne.jp

印刷所 株式会社マルニ

—— 開学の祖「上田鳳陽」先生 (1769～1853) の教えを汲み ——



## 第95回 通常総会

～ 全国の同窓生が

首都・東京に集う ～

声高らかに山口大学学生歌を斉唱

### 行事予定

#### ○第96回 通常総会

令和8年6月20日(土) 於 大阪

鳳陽会第95回通常総会・懇親会が令和7年5月24日、東京・アルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催されました。全国の同窓生が首都・東京に集い、楽しく交流しました。

上田鳳陽先生が江戸時代に開設した山口講堂です。200年を越す伝統を誇ります。山口大学経済学部同窓会の名称は鳳陽先生の号を冠しているのです。ご子孫とご縁をこれからも大切にしていきたいと考えています。

#### ◇通常総会

通常総会には首都圏、名古屋、大阪、岡山、広島、山口、福岡、宮崎など全国の同窓生が続々と駆けつけました。

午後4時、総会が始まります。物故者への黙祷、松永昭博理事長と有村貞則経済学部長の挨拶の後、議事に入り、令和6年度決算、役員選任の議案が可決・承認されました。また、令和7年度事業計画と収支予算報告が行われました。

松永理事長の発声で、全員が乾杯。食事をしみながら、交流が始まりました。円卓を越え、あちこちに談笑の輪が広がっていきま

#### ◇鳳陽先生のご子孫

さあ、午後5時から懇親会です。医学部、工学部、理学部、人文学部の同窓会幹部、そして防長俱樂部、防長教育会の事務局長らが参加しました。

東京支部の大加瀬裕美さんが華やかに司会を務めます。

来賓の谷澤幸生学長、そして山口大学の学祖、上田鳳陽先生のご子孫、上田誠一氏、関西在住と上田慶太氏(首都圏在住)が登壇してあいさつ。大きな拍手を浴びました。

山口大学の源流は、長州藩士、

遠方から駆けつけた同窓生はハッピー姿の実行委員と同じ円卓に座って歓談。「若くてしっかりした後輩たちに会えてうれしい」と喜んでいました。

また、他学部の同窓生と鳳陽会会員が和気あいあいと語り合い、学部を越えた「山大」の連帯を深めていました。

頃合いを見て同窓生が次々にスピーチ。新社会人3人と30代の起業家(東京支部)が近況などを笑顔で語ると、会場からひととき大きな拍手が沸き起こりました。

東京支部名物のじゃんけん大会も盛大に挙行了しました。予選では円卓ごとにじゃんけん。勝者が中央に集まってきました。塩塚保東京



上田慶太氏と上田誠一氏

同窓生らは「感動した」「見事」「よくやった」と語り、山口の銘菓をお土産に笑顔、笑顔で帰路につきました。  
東京支部長  
塩塚 保(学23)

鳳陽寮・北寮寮長の塩塚支部長が檄を發します。

いよいよ終盤に向かっていきます。ハッピー姿の実行委員や谷澤学長、有村経済学部長らが壇上に勢揃い。葛見雅之東京支部事務局長の指揮で山口大学学生歌を声高らかに歌います。

### ◆寮歌高唱

支部長と決勝戦。勝った順番に山口の高級銘酒を獲得し、満面の笑みを浮かべていました。



通常総会



若者たちがスピーチ

「明治維新の策源地、長州山口に 士魂商才の学徒あり」。

檄の節目、節目に同窓生が「ウオー」と雄叫びをあげます。鳳陽寮寮歌、そして最後は先輩から後輩へと歌い継がれる名歌、山都逍遙歌です。参加者が肩を組んで歌い、会場は一体感と高揚感に包まれていきます。

### 鳳陽会東京支部へ友達登録をしてみませんか？

LINEの友達登録ができるQRコードを作りました。  
ホームページ掲載の最新トピックスがお手元に届きます。

#### ◆操作手順

- ・LINEアプリを起動しQRコードの読み込み
- ・友達「追加」のボタンをタップ
- ・氏名と卒業年をお忘れなく



羽根彰大阪支部長

## 第95回通常総会報告

令和7年5月24日(土)午後4時から、東京都千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷、3階「富士」において、一般社団法人鳳陽会の第95回通常総会を開催し、下記のとおり審議・報告を行い、午後4時50分に終了した。

### 記

#### 【決議事項】

- 第1号議案 令和6年度決算  
事務局から令和6年度決算を報告し、原案どおり承認された。
- 第2号議案 役員の選任  
事務局から役員の選任について次のとおり提案し、承認された。

#### □ 理事

氏名	卒期	所属支部	備考
古賀 正彦	学30	北九州	新任

#### 【報告事項】

事務局から次の各事項について報告を行った。

- 令和6年度事業報告
- 令和6年度公益目的支出計画実施報告
- 令和7年度事業計画及び収支予算

### 住所・氏名等、変更された場合はお知らせください

住所・勤務先など変更がございましたら、事務局までご連絡ください。  
連絡方法は下記の通りです。よろしくお願いいたします。

TEL & FAX : 083-924-4361

Mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp

ホームページ (<http://www.houyou.or.jp/>)からの変更手続きも可能です。  
是非ご活用ください。

鳳陽会

検索



### 本誌への広告のお願い

- ★1/3頁 ..... 40,000円
- ★1/6頁 ..... 20,000円
- ★1/9頁 ..... 15,000円
- ★名刺版 ..... 5,000円

事務局では、皆様方からの広告掲載の申込みを募集しております。  
サイズ、料金は上記のとおりです。



# 学園だより

## 令和7年度上田鳳陽賞及び副学長表彰の 表彰式が執り行われました

6月4日(水)、令和7年度の上田鳳陽賞及び副学長表彰の表彰式が、山口大学経済学部第一会議室において執り行われました。



経済学部では、平成15年から、学生の勉学への積極的な取組を奨励することを目的として、学業において年間を通じて優秀な成績を修めた学生を表彰すること

とし、経済学部、そして山口大学の源流となる私塾「山口講堂」を創設した上田鳳陽先生に因み名付けられた「上田鳳陽賞」を授与しています。

今年は、経済学部の2年生、3年生、4年生の各学年、そして経済学科、経営学科及び観光政策学科の各学科で、前年度、それぞれ最も優秀な成績を修めた9名の学生が表彰されました。

また、副学長表彰は前年度のTOEICテストにおける成績優秀者を表彰するもので、経済学部からは1名が選ばれました。

有村貞則経済学部長からは、「皆さんが優秀な成績を修められたことは、日々の努力の賜物であると思います。コソコソと続けていく力を社会に出てからも活かし、活躍されることを期待しています」と今後への期待



の言葉がありました。

また、鳳陽会の石畠克幸(学26)常務理事・事務局長からは「残された大学生活の中で、さらなるステップアップを期待しています。また、卒業後の人生の中で、順風満帆といかない時もあるかもしれませんが、そんな時は今日のことを思い出して頑張ってください。」との激励の言葉がありました。受賞者の熊谷海斗さんは「このたびは上田鳳陽賞という輝かしい賞をいただくこ



とができ、大変光栄に思います。先生方を始め、家族や仲間など多くの人々に支えられているからこそ、勉学に努めることができています。これからも感謝の気持ちを忘れず、日々精進していきたいと思っています。」と感謝の気持ちを述べ、福原雅也さんは「上田鳳陽賞をいただき大変光栄に思います。今回の受賞に加え、卒業までに成し遂げたいことがまだあります。後悔のない学生生活だと思えるように、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。」と今後の抱負を述べました。



## 前期英会話クラスのご報告

経済学部特命教授 山根和明(学15)

今学期(令和7年前期)も英会話クラスに關しまして、大変お世話になりました。英会話クラスでは、留学生の協力で授業をすすめており、おかげ様で、どんな話せる学生が増えてまいりました。今号の13頁に載っている川邊幸史君(学72)も、この講座を受講したうちの一人です。これから多くの分野で活躍する経済学部卒業生が出てくれることを願っています。

留学生をアシスタントとして迎えることができるのも、同窓会「鳳陽会」のご理解のおかげです。ありがとうございます。

また、春と夏に実施しているフィリピン短期留学についてもお世話になり、ありがとうございます。8月23日に8名がセブへ発ちました。9月20日までの英語特訓留学です。

今回はなんと、経済学部を卒業後、竹中工務店に勤



務し、フィリピン駐在経験のある松田幸三さん(学30)が、今回留学する学生たちを激励したいと、セブの語学学校まで慰問に来て下さるようになりました。松田さんは、2004年から2010年までフィリピン(マニラとセブ島の西側の島)に駐在して空港仕事を担当しており、定年となつてから、再びマニラ勤務となりました。次号にて、この件は写真なども交えてお知らせいたします。

重ね重ね、鳳陽会の皆さまにはお世話になっており、感謝に堪えません。



## 支部だより

## 北海道支部

## 支部総会開催

令和7年6月21日(土)午前11時半から例年同様「梅の花札幌店」で支部総会を開催いたしました。今年は栃木県から毎年足を運んでくれる琴野さんが欠席ということもあり、慣例のゴルフ会は中止です。

現在、北海道支部で把握している会員数は14名で昨年より会員数は2名増えました。総会には丁度半数の7名が出席です。

新会員の紹介は後にして、まず欠席者の近況から。唯一の高商卒業者の出口さんと大学4期の今井さんは90歳を超えるご高齢のため欠席です。大学24期の琴野さんは病気で5月末に退院されたばかり。現在リハビリ中ですが、日常生活には支障ないとのこと。同期の西田さんは用事があって欠席。大学38期で釧路在住の三浦さんは、昨年欠席されたので今年は参加すると意気込んでおられたのですが、入院され6月10日に無事退院

されましたが、大事を取って欠席です。大学院6期の増田さんはタイミンク悪く学会出張とぶつかりました。今年度で退職予定の由。

さて、今年新しく北海道支部の会員になられたお二人の紹介です。

大学39期の坂田さんは、鳳陽会事務局からの連絡で札幌に来られたことを知り、連絡したところ数年前から千歳市にいられていました。今年欠席の三浦さんとは入学同期で、お互いが神戸に勤務していた時に偶然飲み屋で隣同士になったとのこと。神戸勤務時代は阪神淡路大震災にあわれたということで、今年になり北海道でマグニチュード6強の地震が3度もあり、しばし地震の話で盛り上がりました。



(後列左から) 平川、木村、古川、近藤  
(前列左から) 中村、藤本、坂田

度は登られているとのこと。昨年は母校を訪問され、在籍時は細かった学内の樹木が太く成長し、木の数もかなり増えていたと話がありました。それを受けて山口大学のキャンパスの広さは農学部もあるので北大に次いで2番ではないかとの話

もう一人の新会員は今回出席いただけませんでした。が、今年三月に大学卒業後、北大大学院に進学し、公認会計士資格取得の勉学に励む大学73期の笹原さんです。北海道支部初の女性会員で、かつ20代という若さ、平均年齢70を優に超える総会に、来年は花を添えて下さることを願っています。

その他の出席者は大学22期の中村さんと古川さん、お二人とも皆勤賞です。大学25期の近藤さんはコロナで休会していた令和元年以来の出席です。奇遇にも出身が新会員の坂田さんと同じ鳥取県ということ。欠席されていた間に2度にわた

り、がんの手術をされました。今はリハビリも兼ね、夜景で有名な藻岩山を月一度は登られているとのこと。昨年は母校を訪問され、在籍時は細かった学内の樹木が太く成長し、木の数もかなり増えていたと話がありました。

が出て盛り上がりました。気になったので調べてみると、演習林などのキャンパス以外の面積も含めると一位は北大、二位が東大、三位に九大と30位までに我が母校が出てくることはありませんでした。そこで、「校舎・講堂・体育施設」の面積だけではどうかと調べ直すと、九大が東京ドーム50個でトップ、我が母校は東京ドーム10個分で堂々の17位に鎮座していました。酒の席とはいえ、あの盛り上がりは何だったのだろうか？

大学29期の平川さんにはいつも幹事役を引き受けてもらっています。ご苦勞様、大学33期の藤本さんは、昨年、東京海上を退社され、彼曰く、今は道路を掘り返して土方をやっていますと

いうことでした。顔も日に焼けて健康そのものでした。以上、北海道支部総会とは名ばかりで、いつも同様、単なる飲み会の報告です。

(文責 木村)

## 【参加者】(敬称略)

中村俊治(学22)、古川彰夫(学22)、木村正道(学23)、近藤次郎(学26)、平川雅晴(学29)、藤本悟(学33)、坂田謙吾(学39)

## 名古屋支部

## 第四一回

## 懇親ゴルフ会の開催

令和七年四月二十六日

(土)、第一四一回懇親ゴルフ会を「富士カントリー可児クラブ可児ゴルフ場」(岐阜県)で開催しました。

春の開催は平日に、秋の開催は土・日曜、乃至休日に開催するとの取り決めがあります

が、現役で活躍中の若い皆さんの参加を期待し、ここ数回は連続して土曜日の開催としています。

今回は天気予報も晴天とのことでしたが、風が強く、少し寒さを感じる中でラウンドとなりました。

成績は下記の通りですが、安定したゴルフを展開された実力者の笠井さん(学19)が三回目の優勝に輝かれました。



次回の第一四二回の懇親ゴルフ会は、今秋の十月二十七日(月)に、岐阜県内のゴルフ場での開催を予定しています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

## 【成績】

(ダブルペリア形式)

優勝 笠井さん(N73.2)

準優勝 中谷さん(N73.6)

第3位 乾さん(N76.0)

【参加者】

乾さん(学9)、吉山さん(学17)、笠井さん(学19)、川村さん(学22)、中谷さん(学29)、権藤さん(学45)の六名。

(川村恒治 記)

## 令和七年度

## 支部総会・懇親会の開催

令和七年五月十七日(土)

鳳陽会名古屋支部の総会・懇親会をアイリス愛知(名古屋市中区)で開催しました。

コロナ感染拡大で四年間の中断を経て、一昨年からこの会場で、お昼の時間帯に開催しています。

昨年

は会員十二名と来賓二名の十四名での開催でしたが、今回は十四名の会員と二名のご来賓で十六名での開催となりました。今





回は水口(学42)さん、塩田(学47)さん、久保学73さんの三名を新たにお迎えすることが出来、賑やかな総会・懇親会となりました。

総会では、事業報告・収支決算報告と次年度の事業計画・予算案が審議、承認され、また役員改選で本石(学25)さんの退任と、倉橋(学53)さんの幹事就任が承認されました。お二人にはご苦労さまでしたと宜しくお願ひしますと、会員からは大きな拍手で称えられました。また亀田支部長以下は従来通りの就任となりました。

その後の懇親会では、初

めての出席の水口さん(税理士事務所開業)、塩田さん(鈴与商事勤務)、新社会人となられた久保さん(三菱UFJ銀行勤務)から、活躍の様子や将来の夢などについて、たつぷり時間をとってスピーチいただきました。

また、いつもの通りに、最長老の乾(学9)さん、下松市から出席いただいた伊藤(学20)さん他、出席者全員からもスピーチがありました。新規の方以外はシンプルに(昔のことは控えめに)との司会者のアドバイスに従つてとは言え、楽しいスピーチに大いに盛り上がった懇親会でした。

またご来賓の有村経済学部長や石島鳳陽会常務理事からも、学生の活躍状況、鳳陽会の活動状況、各支部の活動状況などの報告をいただきました。

最後に来年の総会を同じ会場で、五月十六日(土)に開催予定との説明がありました。今年以上の多くの会員の出席を期待しています。

(川村恒治 記)

### ―新卒者歓迎会開催―

6月21日(土)に支部としては初の試みである「新卒者歓迎会」を開催しました。名古屋支部も他支部同様、総会における20歳代、30歳代の出席者がおらず、若手の参加が喫緊の課題です。

本部から送付のあった「卒業生名簿」を元に、勤務先が当地区(愛知・三重・岐阜)に所在する新卒者に電話をかけ、また実家が当地区にある新卒者にも連絡を取りました。

元々、当地区に実家がある新卒者は少ないのですが、6名に連絡を取った結果、中川弘太郎君(岡崎市役所)と古市圭君(株式会社)に参加していただきました。

当方は役員の出席で総勢7名の会でした。ビールで乾杯、自己紹介後、懇親会では新卒者より大学周辺の様子や学生生活について話があり、和気あいあいの雰囲気での歓迎会でした。

古市君の会社の先輩にも卒業生がいることを聞き、来年の総会には若手の参加が増加するのではないかと期待が持てました。

### 名古屋支部ホームページのご案内

東海地区の皆様には、ぜひ恒例行事にご参加いただき、新たな交流の場としていただきたくお願い申し上げます。転勤等で東海地区に来られた方もぜひホームページから名古屋支部にご連絡ください。

<https://1mp.jp/nagoyahoyo/>

鳳陽会 名古屋支部



新卒者の中川さん(向かって左から二番目)と古市さん(向かって右から三番目)

今後とも若手の支部活動参加のために、できることはやっていく所存です。

記 梶原(学26)

### 大阪支部

#### ―支部総会・懇親会を開催―

令和7年度大阪支部総会は、5月31日土曜日午後、昨年同様シティプラザ大阪にて開催しました。参加された一部の方より、堺筋本町駅からの案内があれば良かったとお声もあり、来年の通常総会では、できる限りの案内ができるよう検討いたします。

総会は米田安宏さん(学29)の司会で行われ、次の議事が取り上げられました。

- ①2024年度 活動報告
- ②監査報告
- ③2025年度 活動計画案、予算案
- ④大阪支部と京滋支部の統合案及び名称変更、『関西支部』名称開始時期は2026年4月
- ⑤規約変更 預金者情報整備(実態に合わせる)
- ⑥支部役員選任(役員改選期「再任」「新任」)

・会員数の減少に歯止めをかけるべく、若手会員への会費減免等の予算として約10万円を計上する思切った予算案

・京滋支部との統合により、『関西支部』への名称変更

・事務局の負担軽減の為、補助員の新任が、例年になく主な議事でした。

各項目において事務局長、会計監査、支部長により報告、説明があり、それぞれ滞りなく出席者の賛同を得られました。

続きまして田中尚夫さん(学30)の司会により懇親会が開かれました。

参加者は64名。谷信副支部長(学28)による開会宣言。

来賓は次の4名の方にご出席いただきました。

有村貞則 経済学部長  
松永昭博 鳳陽会理事長  
石川 浩

山口県大阪事務所長 今井和之

谷副支部長は最近の大阪経済活性化の必要性、同窓会などの活動維持の難しさ、京滋支部との統合や基金の維持、新施策に言及されました。また松尾芭蕉の言葉として伝えられている『不易流行』を引用して、大学





を愛する山口好きを堅持し、変革をスピーディーに実施するというお言葉をいただきました。

有村貞則経済学部長からは、経済学をベースとした観光政策学科の設立経緯。学生らによる山口市長、議員への観光政策提言。湯田温泉こんこんパークにおける本を活用したコミュニケーションづくり。経済学部卒業生である、セブテーニ・ホールディングス創業者七村守(学27)氏と池田豊学(学29)防府市長の講演会開催の報告

がありました。引き続き山口大学経済学部へのご協力ご支援についてのお話もありました。

松永昭博鳳陽会理事長からは、卒業生の実家、勤務先の情報に留まり、本人への連絡先掌握の難しさ、支部統合の全国的動き、学部ごとでなく大学全体の同窓会の構想、全学部の同窓会の統合に向けて、亀山本部事務所の在り方、統合移動等の検討等の話をされました。

また、新卒会員の亀井大滋さん(学73)、宮田梨々夏さん(学73)からもご挨拶をいただきました。

乾杯の挨拶は今井清輔さん(学6)です。ザビエル記念聖堂、亀山学舎等を惜しまれ、また、いつまでも元気でいる秘訣として「気力が病気に負けない」ことが大切であることを教わりました。

石川浩山口県大阪事務所長からは、大阪・関西万博の大屋根リングの西側に位置する「EXPOメッセ」にて、6月10日か



ら13日の4日間、旭酒造など山口の地酒や山口県の食の魅力などを発信するイベントの紹介がありました。

大裏宙さん(学52)からは、今年度の鳳陽会寄附講座の説明がありました。講座の内容は、学生が企業の課題解決に向けた事業アイデアを考え、討議し、企業へプレゼンし、企業経営を



実践に学ぶものです。また、参加企業2社の取り組みのご紹介がありました。

懇親会も盛り上がる中、リーダーの多田修三さん(学39)に導かれ、懐かしの鳳陽寮寮歌、山口高等商業学校校歌、山口大学学生歌を合唱しました。

最後は京滋支部支部長で、今回副支部長に就任いただいた三坂直彦さん(学18)の万歳三唱で締めくくられ、鳳陽会大阪支部懇親会は、終始、和やかな雰囲気で開催されました。

原 聖二(学37)記

#### 大阪支部ホームページのご案内

転勤、転居により関西に来られた方は、ご遠慮なく気楽にご連絡ください。今後の交流のきっかけにしたいと思っています。

まずはホームページをご覧ください。

<https://houyoukai-osaka.com/>

鳳陽会 大阪支部

#### 松江支部

##### 松江支部総会開催

令和7年7月5日(土)に松江ニューアーバンホテルに於いて、11名の皆さんに参加いただき、鳳陽会松江支部総会及び懇親会を開催しました。

総会は佐藤支部長の挨拶で始まり、支部会員の動静の報告に続き、総会議事に入りました。議事は支部役員改選、会計報告、監査報告と異議なく承認されました。また、郵送費、会場費の値上げ等により、このままいくと支部運営も近い将来逼迫するので、今後の連絡は郵送からメールにて行う旨提案があり、全員賛同して支部総会を終了いたしました。



しました。

その後、まずは記念撮影を行い、懇親会に移り、錦織先輩(学15)の乾杯の音頭からスタートしました。途中、恒例の参加者全員による自己紹介と近況報告を行いました。それぞれ山口での思い出を交えて語り合い、質問や講釈が飛び交い、大いに盛り上がりました。また、蔵元の山本先輩(学28)より鳳陽会にふさわしい縁起の良いお酒「金鳳」(きんぼ)をご提供いただき、舌鼓を打ちました。最後に山本先輩の一本締めで締めくくられ、来年の再会を約してお開きとなりました。

#### 【参加者】(敬称略)

錦織勝(学15)、中林孝(学25)、山本剛士(学28)、吉田守(学29)、狩森康弘(学30)、景山雅文(学34)、佐藤徹志(学34)、土江裕之(学41)、日野敬太(学59)、引野仁貴(学60)、北村拓也(学62)



## 防府支部

### 令和7年度支部総会を

開催

令和7年7月25日(金)、防府グランドホテルにおいて、令和7年度鳳陽会防府支部総会を開催いたしました。気温30度を超える、うだるような暑さの中にもかかわらず、23名の方にお集まりいただき、無事開催することができました。

また、コロナ以降、先輩方のご出席が少なくなっている中、久々に大学11期の大先輩にご出席いただき、たいへんうれしく思ったところでした。さらには、令和5年卒、令和6年卒の若い方々にもご参加いただき、幅広い年代が集まった支部総会となりました。



支部総会では、令和6年度の事業報告、決算報告、令和7年度の事業計画案、予算案をお諮りし、ご承認をいただきました。続いて

## 金鳳酒造有限会社

地元の方には「山は大山、お酒はキンポー」のキャッチフレーズで愛され、130年の歴史をもつ酒蔵です。

代表取締役 山本 剛士 (学28)  
〒692-0056 島根県安来市清井町 343  
TEL: 0854-27-0111  
営業時間: 8:15 ~ 17:30  
定休日: 土・日・祝日



「へるん」と「金鳳」  
(Hearn (ハーン)をローマ字読みすると「へるん」)

経済学部長、石畠克幸鳳陽会事務局長にご出席いただき、池田豊(学29)防府市長にもご参加いただきました。誠にありがとうございました。



役員改選を行い、河内新支部長をはじめとした次期役員が決まり、ご挨拶いただきました。よろしくお願ひします。

次に、M先輩から防府支部に多額のご寄付をいただいたことをご報告し、今後新規会員の加入促進などに活用させてもらうことを承認いただきました。M先輩たいへんありがとうございました。大事に使わせていただきます。

続いて懇親会へと移り、毎年恒例のビンゴゲームが行われました。今年もMさんにA1?を活用した名司会で盛り上げていただきました。

最後に、山都逍遙歌、鳳陽寮寮歌、山口大学学生歌を全員が肩を組んで歌い、締めました。今日のご縁が絆となって、鳳陽会はきっと永く続いていくことでしょう。

## 山口支部

### 令和7年度支部総会開催

大先輩、また来年お会いしましょう。若い方々、来年もお待ちしています。みなさん来年お会いできるのを楽しみにしています。女性も大歓迎です。

新役員の皆様どうぞよろしくお願ひします。

支部長 林慎一(学31)

6月6日、山口市湯田温泉のホテル「防長苑」にて、令和6年度決算及び令和7年度予算に関する総会を開催しました。今回は、一般社団法人鳳陽会の松永理事長と有村経済学部長を来賓としてお迎えし、総勢33名が参加しました。

山口支部には800名を超える会員が登録しており、開催案内には152名の会員からご返信をいただき、同窓会への関心の高さを改めて実感しました。

葉書には、仕事の都合で参加できなかった旨や、この一年間の個人的な動向、さらには健康状態などが丁寧に書かれており、皆さんの同窓会への温かい思いに



返事の中から参加者を手引きで誘ったりしていました。しかし、今回はその会員が自発的に参加してくれたのです。このような参加者が増えることは、支部長として非常に嬉しく、開会の挨拶の中でそのことを皆さんに紹介し、閉会の挨拶を予告なくその彼にお願いしました。

閉会後、改めてその彼と連絡を取り合い、「山口支部ヤング会」の発足に向けて彼が主体となり、若い会員に声をかけてくれました。8月には支部ヤング会の懇親会を開催する準備に入っています。

触れることができました。また、ご家族から代筆でお知らせいただいた会員のご逝去の報告もあり、ご冥福をお祈りしました。年に一度、このように会員の皆さんとの交流があり、同窓会という組織を守り、次世代に引き継いでいく重要性を痛感しました。

今回の支部総会で特に嬉しい出来事がありました。それは、40代の初参加の会員がいしたこと。これまでの総会では、案内の葉書を送ったり、少ない

昨年の広島での全国支部長会議で支部活動活性化のための方策として「ヤング会」や「レディース会」の設立が呼びかけられました。従来の総会の枠だけに拘らず新しい支部活動の方向性が提案されました。山口支部も例外ではなく、若手会員、特に女性の参加が少ない現状を改善しようとしています。本部からの支援も総会で承認されており、これを有効に活用することが令和7年度の事業計画に盛り込まれました。



私自身、熊本県の出身で、山口には親戚も知り合いもない中で大学時代を過ごしました。その後、大阪の企業に就職しましたが、何かの縁で再び山口市に住むことになり、支部活動に参加するようになりました。仕事の関係で企業や官庁の職場で同窓の先輩に出会い、仕事上でもお世話になったことを今でも大切にしています。「山大経済の出身です」と言うだけで、まるで血のつながりのある兄弟のように可愛がっていただいたことを、今でも鮮明に覚えています。

昔も今も、「山大経済出身です」と言えば、さまざまなお付き合いができる同窓生。その温かい交流ができるのも、数多くの先輩と知り合えたからこそです。

これからは、山口支部ヤング会を実現し、若い後輩たちに「山大経済卒でよかった」と思ってもらえるような交流を提供していきたいと考えています。

支部長 濱田泰(学26)

## 宇部・山陽小野田支部

### ― 猛暑に負けず、支部総会を開催 ―

6月27日に梅雨明けが発表され、統計開始以来、最も早い梅雨明けとなった今年、連日の猛暑の中、7月5日(土)、当支部は、恒例の総会・懇親会を開催いたしました。今回も昨年に続き、土曜日の昼の時間に開催することにより、会員の皆さんが参加しやすい環境づくりに努めました。残念ながら、当支部も他支部同様、出席者数が減少しつつある状況は否めませんでしたが、それでも懇親会では思い出話に花が咲く中、さらに交流を深めることができました。

まず、白石代表幹事(学32)から令和6年度の事業



あいさつする床本支部長

報告、決算報告について説明を行った後に、早速懇親会へと入っていきましました。

物故者への黙祷、山口高等商業学校校歌斉唱、支部長あいさつ、ご来賓の有村貞則経済学部長、石畠克幸常務理事兼事務局長の紹介、乾杯へと進みました。

支部長あいさつとして、私からまずあらためて鳳陽会に愛着を感じ、伝統と格式のあるこの会の趣旨に賛同される方々にご出席いただいていることに心から感謝申し上げます。その上で、鳳陽会の精神である「先輩を敬い、同胞と大いに語り、後輩を慈しむ」をモットーとして、脈々とその伝統が引き継がれていることを踏まえ、来年はさらに多くの仲間が集う場となることを期待していると申し上げます。

次に、宮崎修五氏(学17)の乾杯、その後、来賓の有村先生からごあいさつを頂戴しました。先生からは経済学部の良い話題として観光学科の取組について報告がありました。宇部市内のホテルでペットを連れた観光を宇部市役所とともに取り組もうとしており、一

年この取組を期待してほしいとのお話がありました。今回、初めての試みとして、スピーチのバトンリレーをさせていただきます。まず、私からのスピーチにはじまり、初めて出席された河村正昭氏(学21)にバトンが渡され、合計6人の方に指名順にスピーチをいただきました。さすがに皆さん、大学でのエピソードやその後の人生についての話題を、笑いを誘いながら和やかに話されていました。

その後、正式種目としてジャンケン大会へと進みました。山口県内の銘酒3人分と女性にも歓迎される県内・宇部市内の名産品3人分が当たるということで、当たる確率が約3人に1人となるため、企画となりました。大いに盛り上がり、今年は、人数的には、こ

じんまりとした会ではありませんでしたが、その分、新しい企画や当支部のモットーとしている「思う存分、語り合う」という意味で会も和やかに進みました。その後、恒例の山都追遙歌、山口大学学生歌、鳳陽寮歌を歌い、副支部長の光

永博文氏(学23)の万歳三唱でお開きとなりました。

支部総会をとおして、出席者同士の交流の輪が広がる一方で、250人を上回る会員が登録される支部をさらに活性化するにはどうしたらよいかということもあらためて考えていく必要があると痛感したところです。やはり、女性や若い人たちと一緒に同窓会を盛り上げていく方向性が大切だと感じました。同窓会活動をどう立てていくか、大きな課題だと感じています。

そうした中、山口大学の学祖上田鳳陽先生の教えのもと、私たちは誇りと自信をもち、地域経済の活性化はもちろん、あらゆる分野において社会貢献していける支部でありつづけたいとあらためて、誓ったところ

です。結びに、あらためて大変お忙しい中、有村先生、石畠様にご臨席を賜りましたことを感謝申し上げます。支部報告とさせていただきます。ありがとうございます。

支部長 床本隆夫(学29)

## 香川支部

### ― 全学部合同の総会 ―

6月7日(土)、第32回鳳陽会香川支部総会開催に合わせ、全学部合同の総会を「寿司割烹豊し」で開催いたしました。総勢6名にお集まりいただきました。今年は、出席の利便性を考慮して、従来の昼間開催から夕方開催に変更しました。午後6時、阿部支部長の開会挨拶より始まりました。次に、令和6年度会計報告及び会員の近況(お便り)報告を行った後、香川様(農学部)の乾杯の音頭により懇親会をスタートしました。しばらくは、それぞれ食事と会話を楽しみ、近況や学生時代の思い出などを披露してもらってからは、お互いに席を移動しながら交流を





楽しみました。

最後に、山口高商校歌、鳳陽寮寮歌、山都追遙歌を出席者全員で合唱しました。

近年若い人の参加が全くなく、また、ご案内のなきを郵送しても回答がない状況を苦慮しています。しかしながら、新たな出会いが始まり、世代を超えた人の輪が広がっていくことを願っております。

【出席者】(敬称略)  
(経済学部卒)

阿部文雄(学18)、安田等(学30)、松下慶二(学33)

(農学部卒)

香川洋二(第16回・昭和43年)、荒木伸二(第30回・昭和57年)

(医学部卒)

厚井文二(7期生・昭和49年)

## 北九州支部

—支部総会開催—

令和7年6月17日(火)にステーションホテル小倉に於いて北九州支部総会・懇親会を開催いたしました。

来賓として、鳳陽会の松永理事長を始め、鳳陽会福岡支部、下関支部、霜仁会

北九州支部、常盤工業会北九州地域同窓会の各支部長の皆様方にもお越しいただき、総勢33名での催しとなりました。

総会では、木下幹事長(学29)が司会進行を務め、古賀副支部長(学30)が開会挨拶の中で、今回の定例支部総会が7年ぶりの開催となった経緯の説明と、令和9年に北九州支部が鳳陽会通常総会をお引き受けすることを発表しました。そして、今後積極的に支部活動に参加していただける会員の増強と更なる結束が必要である旨を述べました。

続いて、来賓のご紹介と松永理事長の来賓代表挨拶となり、鳳陽会の近況についてお話を伺いした後、議事に入りました。

古賀副支部長の新支部長就任を含む役員改選案他、計5つの議案はすべて了承され総会は終了。その後、出席者全員で記念写真を撮影しました。

小休止を挟んでいよいよ懇親会の開催となり、最長老の大和一雄氏(学7)の乾杯の音頭により懇親会がスタートしました。しばらくは、お互いに席を移動しな



長(学35)の万歳三唱で盛会裏に閉会いたしました。

今後の支部活動の活性化と来年の総会での再会を約束し合うなど、支部の結束を強くした有意義な1日となりました。

(学30 古賀 記)

## 第二十回記念

三経囲碁

七月に二十回目の三経囲碁を日本棋院小倉支部にて開催しました。

ご存知、長崎瓊林会、大分四極会、そして我が鳳陽会の三経OB会です。

二〇二三年十一月に第二回を開催、コロナ禍を超え記念の会となりました。

いつもは支部長も合流し反省会という名の飲み会と



なるのですが、今回は残念ながら囲碁会のみ。終了後、今回の成績優秀者の表彰と同時に二十回記念の表彰も行いました。

ここ数年は三経対抗戦から個人戦へ。

各校共通の悩みは先輩の皆さんの引退と新しいメンバーの不足です。

名簿等なく、参加者がお誘いしている状況です。

会員の皆さん、いつでもどこからでも歓迎いたします。ご一報ください。

現に福岡、下関よりの応援を、及び他学部卒業生をも受けている状況です。

北九州支部三経会として開催し二十六回を迎える三経ゴルフ、OBを中心に各界にてご活躍の講師をお迎えしての講演会、そして新たにテニス会を始めました。

北九州支部が中心となる、二〇二七年の全国総会主催に向け、一層の支部活動をとの思いです。

囲碁会鳳陽会参加メンバーは以下のとおりです。

瀧下靖章(学3)  
上田昌彦(学14)  
松本忠(学14)

(敬称略)

瀧下靖章(学3)  
上田昌彦(学14)  
松本忠(学14)

羽野芳輝(学18)

上田仁教(学18)

中村純明(昭和四十年農学部卒)

西田隆一(学13)

皆様からのご参加を歓迎いたします。

西田隆一(学13)

## 福岡支部

—春の親睦ゴルフ会—

5月8日(木)、木々の緑が目染みて美しい筑紫ヶ丘GCで、今年も14名のメンバーが集まり、親睦ゴルフ会を開催することができました。

当日は天候にも恵まれて、和気あいあいと楽しく汗を流しました。昼食時の会話では、互いの近況を語り合





い、得がたい一時を味わうことができました。

コンペの結果、優勝争いの常連たちをおさえ、同期コンビが1位・2位を分け合いました。

楽しい時間もあっという間に過ぎ、最後は秋の親睦会での再会を約し、笑顔の散会となりました。

## 記

### 【成績】(敬称略)

優勝 草野浩一(学29)  
準優勝 森川康朗(学29)  
3位 松田和男(学21)

### 【参加者】

立花弘喜(学11)、鬼丸修一(学12)、木下兼吉(学13)、八尋洋士(学14)、古澤正道(学14)、鬼木和夫(学17)、加藤久典(学20)、松田和男(学21)、林田光博(学24)、山口栄次(学25)、川上知昭(学26)、尾崎正樹(学27)、草野浩一(学29)、森川康朗(学29)

文責 加藤(学20)

## 大分支部

### 令和7年度の

### 例会を開催

大分支部は、令和七年度の例会を5月17日(土)に、大分市内の「トキハ会館」に



て開催した。今年度は、参加者が13名であった。久しぶりの参加の会員が数名おり、大いに旧交を温めることができた。ただし、若手会員の参加が無かったことは残念だった。

例会は、例年通り総会の部と懇親会の部の二部構成。総会の部では、まずは物故者への哀悼の意を表し、黙とうを捧げた。続いては、佐藤支部長の開会の挨拶。佐藤支部長の挨拶は、昨年6月に開催された全国支部長会議の説明が中心で行われ、「今後も支部発展にますます尽力していく」旨の決意表明で締めくくった。

引き続き、令和六年度の会計報告、監査報告が行なわれ、全会一致で承認された。

懇親会の部では、細川直弘さん(学27)の音頭で乾杯。美味しい料理に舌鼓を打ちながら、あちらこちらのテーブルで話の華が咲いた。久しぶりに再会した会員も数名いたが、そこは青春時代をお互いが過したのが山口の地、打ち解け合い友好を深めるのにさほどの時間を要しなかった。

途中、参加会員の近況報告が行なわれ、現在の生き様を語る会員から学生時代のことをカミングアウトする会員までいて、会場内は納得と笑いに包まれた。

青春時代にタイムスリップした楽しい時間は瞬く間に過ぎていった。締めくくりは、恒例の鳳陽寮寮歌、山都逍遙歌、高商校歌、大合唱した。これらの歌に精通した会員が欠席で、メロディーがおぼつかない面もあったが、それでも声高らかに歌った。

最後に、曽根崎雅志さん(学31)の音頭で万歳三唱をし、なごりは尽きないが、来年の再会を堅く約し散会した。

(学30 佐藤隆)

## 同期会だより

### 大学13期

### — 広島同期会 —

鳳陽会広島地区の昭和40年卒業の同期生は、「三金会」と称して毎月第3金曜日に、広島市中区にあるお好み焼き屋、五工門で、毎月例会を開催しています。

この「三金会」、始まって以来早いもので既に20数年間にわたり、例会が続いています。

最近の参加者は毎月6〜7人程度で、主な話題は健康問題や、広島カープの不甲斐なさや頑張りぶり等



にて、二千円余りの会費でビール片手に毎回賑やかにやっています。

なお、先般の4月例会には、東京支部から同期生松本孝亮君の飛び入り参加があつて、大いに盛り上がると共に、左記のとおり丁寧な礼状を受理しましたので、三金会会員皆で喜んでいきます。

他支部の同期の皆さん、もしタイミングが合えば是非ご参加をお待ちしています。

(山本宏 記)

山本宏様  
前略 4月18日(金)の三金会に参加でき、久しぶりに皆さんと会えて楽しく過ごせありがとうございました。

11時、広島駅に着き、懐かしい広電の市内電車に乗り、ゆつくり街中を窓からながめ、銀山町や八丁堀の風景を見ながら紙屋町に着き、そごうデパートの7階会場の五工門に到着する。

予定の12時から7名参加の定例飲み会が出

来た。

幹事の山本宏さん、嘉屋正興さん、堺原直毅さん、城知彦さん、竹田伸孝さん、松山幸三さんと私。

昨年9月12日開催の卒業60周年記念同期会欠席の嘉屋さん、堺原さん、竹田さんにも会えて、多岐に渡る話に盛り上がり、あっという間に終わりの時間が来て再会を祈念して解散する。

11年間過ごした生活した広島は大変懐かし、名物のお好み焼きを3回も食べ、満喫でき有意義な時間を過ごせ、今年1月1日に妻を亡くして気分が滅入っていた所、至福の時を過ごせました。

夜、広島駅近くのビジネスホテルに泊まり、翌朝7時の朝食バイキングでは、外国人客40名程の最後列に並び、日本じゃないようでびっくりしました。東京や京都だけではなく、広島へのインバウンド客の多さにびっくりした次第です。

4月25日 草々  
松本孝亮



「異学同根」

映画監督山田洋次を思う

淵 上 洋 一 (学13)

春の櫻も散り、爽やかな  
皐月の微風を浴びながら、  
一の坂川の河岸を逍遙して  
いると、古びた石碑が目  
に入った。

「鴻南に寄する歌  
柳櫻をこきまぜて  
春も錦となりくれば  
後河原の枝並みに  
若き思も寄する哉」

これは旧制山口高校鴻南  
寮歌の一節であるが、出自  
を尋ねれば、新古今和歌集  
にある素性法師の歌詞とい  
う。



その旧制山口高校を偲ん  
でいると、突然、山田洋次  
という我が国屈指の映画監  
督の姿が浮かんでくる。

山田洋次は戦後、大陸(満  
洲)からの帰国者で、宇部  
中学から山口高校・東京帝  
国大学法学部(いずれも旧

いわずと知れた存在で、  
齢九十を超えても尚、第一  
線の映画監督者として活躍  
しており、二十数年の永き  
に亘り、渾美清扮する車寅  
次郎という奇妙な人物を主  
人公にした「男はつらいよ」  
という作品を作り続け、我  
が国大衆の大きな支持を受  
けながら或る種の映画文化  
を確立している人である。  
雇用不安、格差拡大、少  
子高齢化、人口減少等、社  
会不安が増す現代社会に於  
いて、この車寅次郎なる主  
人公笑いを撒き散らし  
ながら、「辛いこと悲  
しいことばかりじゃな  
いよ」と生きることの  
素晴らしさを訴える物  
語は確かに人々の心の  
共感を呼んだことであ  
ろう。

制度の最終期)に学び、昭  
和二十九年、映画会社松竹  
に入社。当時、映画産業華  
やかなりし頃で、同社にも  
篠田正浩・高橋治・大島渚  
等、優秀な人材が揃ってそ  
の門をくぐり、フランス映  
画で起こったゴダールやト  
リュフオーの「新しい波」  
(ヌーベルヴァグ)に準えて、  
松竹ヌーベルヴァグと囃や  
されていた。

しかし山田洋次は、篠田  
や大島等と距離を置き、  
黙々と地味な作風に身を委  
ね、松竹伝統の「人間劇」を  
追求、小津安二郎や木下恵  
介の潮流を継ぐこととなり、  
斜陽産業化した映画世界に  
あつて松竹の屋台骨を支え  
続けているのである。

私は卑小の身を顧みずに、  
敢て「異学同根」というのは、  
学んだ学校が異なっても、  
自然悠久のこの地で、或い  
は数百年の昔、大内文化の  
華が咲き誇ったこの地で、  
人として世を生きて行く術  
をゆつくりと身に纏う青年  
期の体験を共有していると  
確信しているからである。

その山田洋次が学んだ、  
旧制山口高校は我々が身を  
投じた大学の前身旧制山口

高等商業とは因縁浅からぬ  
間柄ともいえる。確かに一  
時期、この狭小なる街で薨  
を並べ、それなりの存在感  
を表す教育機関であつたが、  
それよりも歴史を遡れば一  
方が明治期の「ヤマコー」で  
あり、それが実業高等商業  
高校に転じた後、もう一方  
が新たに「ヤマコー」として  
設置されたのである。

そもそも、我が国の教育  
制度の変遷を繙けば、様々  
な変化の波に洗われたこと  
が判明する。明治維新直後、  
政府は国の将来を見据えて、  
教育の学問最高機関として  
旧幕府の学問所昌平黌を活  
用し、帝国大学を設置した  
が、旧体制の藩校である各  
地の尋常中学校では帝国大  
学に繋げるには学力不十分  
とみなし、明治十九年に全  
国五か所(東京・仙台・京  
都・金沢・熊本)に高等中  
学校を設置。その時、政府  
の枢要部門に多くの人物が  
いた薩摩長州がそこに割り  
込み、鹿児島・山口が加わ  
って、七校でスタートとした  
のである。

その後、岡山や名古屋等  
にも拡がり、高等中学から  
高等学校と呼ばれる様にも  
なり、さらに帝国大学も京

都や仙台にも設けられ、我  
が国の教育制度は充実の一  
途を辿るようになった。  
ところが、その山口高校  
は、明治三十九年、運営を  
支援していた旧藩主毛利家  
を中心とした防長教育会が  
諸般の事情で手を引いたた  
め、文部省は高校を高等商  
業学校へ切り換えたのであ  
る。

その状況はともかく、我  
が国の成長発展は著しく、  
それに伴い高等学校の新設  
も促され、大正七年、再び  
地名を冠した四校(新潟・  
松本・山口・松山)が新設  
され、当地(山口)には高等  
学校と高等商業学校が並置  
されることとなった。

以後、高等学校の設置は  
続けられ、終戦時には外地  
(朝鮮・台湾・満洲)  
も含め三十数校に上  
ることになる。

しかし、戦後、民  
主化を唱える行政機  
関が教育制度改革に  
も着手し、官制の高  
等学校や帝国大学に  
もその波が押し寄せ、  
昭和二十四年には新  
制度に基づく学校体  
制が始まるのである。  
その内容は、帝国

大学や旧制高校、各種実業  
学校(商業・工業・農林等)  
の廃止で、それに替わる新  
制大学の発足であるが、社  
会評論家大宅壮一が揶揄す  
るところの「駅弁大学」が発  
足。当地山口の高等商業学  
校も旧制高校・師範学校に  
一括りにされ、新生大学と  
して誕生したのである。

私は、かくの如き背景で  
誕生した大学経済学部は、  
十年ほど経過した昭和三十  
年代に学んだのであるが、  
その学び舎で、或いはまた  
学友達と寝食を共にした寮  
生活で、多感極まりない青  
春時代を過した原風景を今  
以て抱きしめているのであ  
る。



山口高校記念館 (旧制山口高等学校講堂)



## 山生なら

## 何でもできる

窪井 耕(学64)

はじめまして、窪井耕と申します。2016年、山口大学を卒業し、新卒でテレビ山口株式会社に入社、2023年に(株)ctowを創業。現在、TikTokを活用して全国の社長を紹介するメディア「社長の名は」を運営しています。

今回、私が在学中の皆さんへ伝えたいことは、「学歴株式会社」の営業部で6年間

は、多分関係ないです。東京で出会った数々の社長が、そう気付かせてくれました。私は生まれてから28年間、山口県以外で暮らしたことがありませんでした。そんな私が上京を決意したきっかけは、東京の起業家との出会いでした。

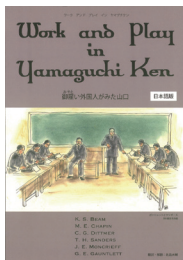
「お前、面白いことしてるな。明日、東京に来てよ！」突然そんな一言をもらい、次の日、山口宇部空港から羽田空港へ向かいました。

大学卒業後、テレビ山口株式会社の営業部で6年間

## ご寄贈

山口市在住の北島大輔様より『Work and Play in Yamaguchi Ken』を鳳陽会へご寄贈いただきました。

北島様は、山口市教育委員会文化財保護課に文化財専門員として勤務するかたわら、近代の山口県内の御雇い外国人のことについて公務外の趣味で調べていらっしゃるようです。



このたび、山口高等商業学校の英国人講師トマスH.サンダースの呼びかけで県内外国人たちが1914年頃に執筆した小冊子『Work and Play in Yamaguchi Ken』を北島様が日本語訳し、自費出版されました。

発行部数が少ないとのことで、ご厚意により、冊子とは別にPDFデータもいただいております。鳳陽会ホームページよりPDFデータの閲覧が可能です。また、冊子での閲覧をご希望される方は鳳陽会事務局までご連絡をお願いいたします。

勤務していました。その頃、テレビが若者に与える影響力の低下を目の当たりにし、「自分で若者に届くメディアをつくりたい」と決意して退職。趣味で始めたTikTokでは、10万人のフォロワーを獲得しましたが、当時は全く稼げませんでした。そんな時、オンライン仕事マッチングサービスで出会ったのが、冒頭の起業家です。この出会いが私の人生を大きく変えました。



会社のメンバーとともに (中央が筆者)

現在の主軸事業である、TikTokを活用した全国の社長を紹介するメディア「社長の名は」を立ち上げ、これまでに年商数億、三百億円規模の企業から、社員数名の会社まで、全国で数百人以上の社長を取材させていただきました。

社長たちへのインタビューでは毎回、次の2つを必ず聞きまします。

「これまでの人生で最も大変だったことは何ですか？」  
「どん底からどのように這い上がりましたか？」

社長たちが語る「最も大変だったこと」は、百人いれば百通りでした。百億円の負債を完済した社長、社員全員が辞め会社が回らなくなった社長、精神的に疲弊し売上が激減した社長。それぞれが異なる困難を乗り越えています。

しかし、どの社長にも共通していたのは、「自分を信じたこと」です。「できる」「なんとかなる」という根拠のない自信。それが、彼らを次のステージへと押し上げたと感じます。高い壁を乗り越えるには、まず「超えられる」と信じるのが大切だと気付かされました。「超えられない」と思えば、その瞬間に挑戦は終わる。

そんな私も、入社した東京の会社が半年で解散。明日から給料がない状況になりました。どうしよう？と一瞬考えましたが、社長達の話を思い出して、「まあ、大丈夫か」と気が楽になりました。

た。そして、起業を決意。現在、日本最大級のTikTok社長メディアに成長しています。

「山大だから大企業に入社できない」

「山大だから年収一千万円超えられない」

「山大だから夢が見られない」

私が在学中、同級生はそんなことをよく言っていました。しかし、そう思うことが、自分の可能性を閉じてしまいます。私はこれまでの31年間で、大学名で不利になったことは一度もありません。

特に東京では、どの大学を卒業したかよりも、「今、目の前の仕事にどう向き合っているか」が問われてきました。

また、地方出身者だからこそできること、私は今、地方で生まれ育った経験を武器に働いています。山口県の風土や経済動向を理解しているからこそ、東京で得た視点と組み合わせると新しい価値を生み出せると信じています。地方で育ったこと、それ自体を強みにしようとしています。「山大だからできた」と言える経験

を、皆さんも積み重ねてく

ださい。どんな人も、必ず光るものを持っています。「学歴は、たぶん関係ない」自分の心に従い、ワクワクする道こそが答えだと信じて。これから私も、年商百億、一千億を目指し、山生が自慢できる会社になるべく、挑戦を続けていきます。会社の規模も人間的にもまだまだですが、毎日一歩ずつ成長していきます。いつか皆さんとお話できると嬉しいです。

ありがとうございました。



取材でマンマーへ

株式会社ctow(クトー)  
代表取締役 窪井 耕(学64)  
〒103-0023  
東京都中央区日本橋本町4-11-1 東興ビル  
主な事業内容  
・映像制作事業・SNSマーケティング事業・HP制作事業  
#社長の名は TikTok で検索



## 社会人1年目を終えて

川邊 幸史(学72)

社会人1年目を終え、あらためてこの1年間を振り返ると、新しい環境の中で学びと気づきの多い、充実した日々だったと感じています。その中でも、大学時代に学んだ英会話が様々な場面で役立つ1年間になりました。

現場で役に立ったことは、特に印象に残っています。

外国人観光客の方々が来場された際、簡単な英会話を通して案内や説明ができたことで、スムーズな対応に繋がっただけでなく、自分自身の学びが実務で活かされたという実感を持つことができました。大学時代に英会話ができることが特別だと気付く機会は多くありませんでしたが、勤務先が市役所ということもあり英会話ができることで特別な存在として扱われることに喜びを感じました。人に必要とされることは仕事の中でも大きなやりがいとなっているため大学時代の学びにとっても価値を見出しています。



参加したイベントの1つに日本酒の魅力を在日外国人に伝えるというものがありました。日本酒の伝統、文化、製造工法や特徴など、日本の価値あるものを英語で表現する体験は特別でした。英

語を用いての表現方法に定められたものではなく、感じたままに、受け取ったままに表現することでそこにしか生まれない外国人の方との空間が生まれました。私の英会話力はテストでいうと合格点をもらえないかもしれないですが、意思疎通という本来の会話という意味では合格点だと思います。それは、語学としての正解にとらわれずに、相手と話したい共有したいという思いからのものだと思います。これからも今の思いを忘れずに積極的に会話をしていくと同時にさらにレベルアップしていくために勉強にも励んでいきます。



まだまだ至らない点も多いですが、2年目以降も、これまでの経験を活かしながら、一つひとつの業務に誠実に向き合い、地域の皆さまのお役に立てる職員を目指して努力していきます。

## 就職アドバイザー募集中！

鳳陽会では、山口大学経済学部への支援事業の一環として、就職相談を実施しています。

鳳陽会会員が、就職アドバイザーとなり、それぞれ週1回、2時間程度、山口大学経済学部の就職相談室で経済学部生の就職に関する相談に対応するものです。

現在、就職アドバイザーを募集しています。山口市及び山口市近郊にお住まいの方、また、年齢が67歳までの方でご希望される方は、是非、鳳陽会事務局までご一報ください。

〈連絡先〉鳳陽会事務局  
TEL：083-924-4361  
mail：houyou99@crocus.ocn.ne.jp

## 令和7年度支部総会開催予定

下記のとおり、支部総会が開催されます。  
詳細は支部担当者又は鳳陽会事務局までご連絡ください。

支部	日程等
京滋	日 時：11月8日(土)12:30～15:00 場 所：都ホテル 京都八条 連絡先：代表幹事 川原章(学19) TEL：090-6660-1093 ✉：fgfhp58@gmail.com
神戸	日 時：12月7日(日)13:30～ 場 所：梅の花 神戸元町店 連絡先：代表幹事 茅野雅昭(学32) TEL：090-1551-7687 ✉：mk0120kayachan@docomo.ne.jp
岡山	日 時：11月30日(日)14:30～19:00 14:30～鳳陽会岡山支部総会 15:00～山口大学連合同窓会 場 所：サンピーチ・ホテル(岡山駅近く)
福岡	日 時：12月3日(水)開催予定 18:30～総会、19:00～懇親会 場 所：西鉄グランドホテル
熊本	日 時：11月上旬(土)予定 場 所：ホテル メルパルク熊本



学18	学17	学17	学16	学15	学14	学14	学14	学13	学13	学12	学12	学12	学10	学10	学10	学10	学10	学9	学9	学9	学8	学8	学6	学5	学4	学2	学44	經44
吉岡	鹿毛	中谷	古賀	河村	山本	福田	守山	佐野	山田	河野	森田	匿名	山名	徳縣	辰田	小副	沖川	岡本	北野	的場	岩本	大草	前田	松吉	井関	田村	伊妻	伊妻
博	洋	和	捷	壽	光	晋	正	延	忠	希			俊	千	史	裕	盛	哲	公		昭	定	俊	善	彦	彦	正	彦
美	明	一	之	彦	一	男	茂	治	明	夫	臣	望	弘	功	治	尋	郎	之	莊	志	夫	豊	郎	男	彦	彦	彦	彦

令和7年8月15日現在

○寄付金(個人)

寄付金納入者  
ご芳名(敬称略)

寄付金・会費の納入ありがとうございます。

寄付金、賛助会費、更には年会費を納入していただいた皆様には厚く御礼申し上げます。

賜りましたご厚志は有効に活用させていただきます。

引き続き、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

学51	学41	学37	学36	学33	学32	学31	学29	学27	学26	学26	学26	学24	学23	学23	学22	学21	学21	学19	学19
坂根	森	川	藤	原	板	関	床	愛	梶	湯	石	生	塩	葛	石	木	松	武	高
		俣	井		井	屋	本	宕	原	浅	畠	駒	塚	見	原	原	永	居	木
				高	克	秀	川	義	隆	伸	義	英	克	弘		雅	義	一	昭
匡	哲	俊	則	樹	浩	和	夫	康	昭	雄	幸	行	保	之	弘	郎	博	二	寛

学40	学39	学38	学38	学36	学35	学35	学34	学34	学33	学32	学30	学29	学28	学27	学27	学25	学23	学23	学23	学22	学22	学20	学13	★大学の部
竹之内	小川	河野	岡本	鷲尾	河野	石飛	渡辺	鷲尾	河端	井上	中嶋	森田	川原	森永	古川	素村	小田	山本	三好	上野	門田	小栗	石田	齊藤
研吾	浩司	言	磨	真弓	正幸	俊明	岳彦	忠彦	直也	謙介	博史	浩二	文司	典子	智	知子	保	秀範	敏郎	陽一	順一	康洋	斎	正義

住所変更

動  
静

学67	学67	学66	学66	学66	学65	学64	学64	学63	学63	学62	学61	学60	学59	学59	学57	学56	学55	学54	学53	学53	学52	学52	学50	学49	学47	学47	学44	学40
横田	長尾	近藤	下地	池山	石橋	平野	河本	松原	森	錦織	徳永	橋本	奥本	黒飛	山崎	佐々木	谷村	真砂	野田	倉橋	川口	小川	榎	吉村	小西	古川	高橋	岩切
旺大	陵平	慶汰	貴大	千晶	勇人	未来	優香	研悟	麻美	勇人	量子	さつき	翔	早絵	大裕	雪華	嵩史	真優子	宗作	新	裕司	さやか	豊人	亮介	美香	徹也	憲一	克樹

学8	学6	学5	学3	学2	★大学の部	専17	経44	経44	経43	経43	★高商経専の部	学49	学73	学73	学73	学73	学73	学73	学73	学71	学71	学70	学69	学69	学68
高田	山田	花澤	伊藤	伊丹		浜崎	藤田	串崎	合原	藤岡		王	国竹	和田	沖	宮田	亀井	久保	谷中	寛	片山	川西	宇高	岩崎	
一生	衛	宏行	昌輝	健一		照彦	昭一郎	康文	博見	昭次郎		凱莉	優斗	桃果	柁	梨々夏	大慈	海翔	竜哉	春紀	昂機	雅貴	稜	凛太郎	

住所不明者  
会報が返送されま  
す。住所をご存知の  
方はお知らせ下さい。

学36	学35	学35	学35	学35	学34	学34	学32	学32	学31	学30	学30	学29	学29	学28	学27	学26	学25	学23	学22	学22	学18	学15	学14	学13	学13	学13	学11	学8
桑原	倉元	宮本	佐藤	木村	池	岩本	黒木	石井	水野	吉村	藤本	岩本	寺西	林	青野	川本	木下	大林	鍵本	井上	野坂	角田	中政	柴田	村本	岩政	板坂	井上
隆	貴枝	信子	克利	明彦	毅一郎	真一	暢彦	潤一	由香里	方志	謙一郎	裕昭	馨	由美	克則	忠男	信一	宏行	知身	清文	弘美	俊男	富昭	寿一	宏	道夫	政治	雅章


学48	学47	学47	学47	学46	学46	学46	学45	学45	学44	学43	学43	学42	学42	学41	学41	学41	学41	学40	学40	学40	学39	学38	学38	学37	学37	学37	学36
世良	宮崎	上村	小川	伴田	田中	高松	岡本	宮崎	深堀	竹中	宮本	尾家	森田	川口	堀切	栗城	島津	小幡	水上	薬師寺	重藤	遠山	末岡	弘津	高橋	沖	前田
典孝	克史	美絵	亨	隆延	尚美	徹	辰徳	有信	康之	雅美	務	正之	優司	芳弘	敦子	晃彦	栄三	昭一	重久	彰紀	美香	和正	幸雄	貴志	勇人	昌徳	直彦

「鳳陽会」は、皆様方の年会費を基本にして運営しています。



学58	学57	学57	学57	学57	学57	学56	学56	学56	学56	学55	学55	学55	学54	学54	学54	学54	学53	学53	学52	学51	学51	学51	学50	学49	学49	学49	学48	
貞方	赤木	野地	堀池	北城	酒井	西岡	永橋	柳井	八木	高田	梶川	久野	小森賢一郎	八島	横山	鈴木	大賀	大石	上田	父母石英毅	蒲山	金田	柴田	馬渡さつき	藤井	竹谷	井川	永木
啓邦	俊介	康文	翼	正章	悠介	直子	真	秀信	裕也	誠也	雅義	晃洋	亮	成人	亮史	浩輔	智史	典子	昇	怜子	正人	俊成	浩幸	敬志	弘子			
学64	学64	学64	学64	学64	学64	学64	学64	学63	学63	学63	学63	学63	学63	学62	学62	学62	学62	学62	学61	学61	学61	学61	学60	学60	学59	学59	学58	
植田	石田	池本	森田	永田	迫田	岡本みなみ	池部	藤島	蛭子	平田	田中	小林	安部	陶山	中川	水谷	田中	荒木	新谷	木村	嘉村	片山	中村	岡崎	藤浪しのぶ	淵田	小林由布子	
陽平	優	幸平	早紀	翔万	恵里	優生	弘祐	歩美	拓希	啓二	直仁	将輝	暢仁	卓哉	奈美	貴也	優也	幸輝	優美	優希	真吾	友紀	貴大	詩織	渉			
学69	学69	学69	学68	学68	学68	学68	学68	学67	学67	学67	学67	学67	学67	学67	学66	学66	学66	学66	学66	学66	学66	学65	学65	学65	学65	学64		
福田	下松	石津	宮本	日高	高原	杉原	川井	松崎	中廣	前田奈津美	茂木	佐藤	岡崎	大山	内野	岩田	松永	近森	菊田	亀井	石川	荒木	森本	藤本	角	内野	犬丸	
滉斗	弘武	賢幸	泰成	恭平	彩香	由真	瑛太	光	淑乃	亜衣	朗大	真実	康希	宗大	聡子	美奈	飛翔	勝也	侑作	祐介	千絵	泰斗	慎一郎	未希	健登	祥平		
院49	学73	学73	学73	学73	学73	学72	学72	学72	学72	学72	学72	学72	学72	学72	学72	学72	学71	学71	学71	学71	学71	学71	学70	学70	学69	学69	学69	
山本	村岡	松田	高畑	岡田	石原	森	藤田	西村	成相	中莖	角谷	小川	大瀧	牛嶋	諫山恵梨子	浅野	和田	村上浩太郎	長谷川結士	清水	島本健太郎	佐藤	宗像	清水	山口	宮崎	藤井	
悟	歩輝	大輝	美南	智志	光珠	響	陸斗	聡美	樹一	絵里	俊哉	結子	航平	陽花	美尋	勝信	紘典	玲奈	結士	玲奈	薫月	大志	香帆	竜司	葵	春花		
梶屋	山元	住友	貞木	古野	尾中	湯田壽一郎	村上	藤津	竹下	石田	徳富	泉	國光	★大学の部	山田	岡本	吉田	吉田	浜崎	鈴木	浅賀	原	長尾	岡本	岩竹	★高商経専の部		
武	敏男	知	展生	嘉信	宣郎	庄蔵	幸弘	敏之	眞彌	眞昭	宏	信男	喜彦	斌	昭司	公治	和幸	肇昭	利	豊	武郎	義次	猛					
(大学6)	(大学5)	(大学5)	(大学5)	(大学4)	(大学4)	(大学3)	(大学3)	(大学3)	(大学3)	(大学2)	(大学2)	(大学1)	(専修18)	(別科14)	(経専43)	(経専43)	(経専43)	(経専42)	(経専42)	(経専41)	(経専39)	(高商38)	(高商33)					
4	6	6	7			7	7	元	2	7	7	5	6		4	4	5	7	6	7	7	6	7	12				
12	9	2	6			7	5	5	5	4	8	6	3	2	12	9	5	11	2	5	6	3						
		1	12			25	8	14		31		14		13	27	20	2	2	17	11	11	6						
朝原	松村	仙波	中山	加茂	津田	小野	白松	笠置	三好	金丸	吉富	稲富	藤永	白神	池田	宮本	河野	升成	田中	竹添	田村	田中	小田	溝辺	松村	桑野	河野	影山
啓太	昭二	隆人	吉人	篤	一宏	富生	英人	悠一	俊典	征一	昭範	智昭	正雄	稔也	芳一	信幸	宏澄	好行	義教	順郎	襄	宏	忠裕	馨	幹夫	重弘	喜行	高志
(大学37)	(大学26)	(大学26)	(大学25)	(大学25)	(大学23)	(大学20)	(大学19)	(大学18)	(大学15)	(大学15)	(大学14)	(大学12)	(大学11)	(大学11)	(大学10)	(大学9)	(大学9)	(大学8)	(大学8)	(大学7)	(大学7)	(大学7)	(大学6)	(大学6)	(大学6)	(大学6)	(大学6)	(大学6)
7		26	6	7	7		6	7	7	5	6	6	7	6	6	7	7	31	6	7	7		6	6	6	7	7	5
5		9	12	4	1		9	4	4	4	12	3	2	7	6	6	2	3	6	4	1		3	4	11	2	2	7
11		24		15	30			17	8	9	3	4	27	18	23	22	28	18		6			31		1	26		

謹んでお悔み申し上げます。





鈴木重靖先生を  
偲ぶ

前略、

鈴木重靖先生が他界なされて早四年が経過しました。本年四月二十二日、卒業五十年を迎えた鈴木重靖先生の大学23期ゼミ生九名（荒尾清志、上野陽一、葛見雅之、小林忠良、小柳洋一、高重三雄、三好敏郎、山本秀範、佐々木昭裕）が、全国から山口の地に集いました。



松田屋ホテルでの会食

奥様を亡くし、深い悲しみを抱えながらも出席した者、持病を引きずる者、長い闘病生活から復活した者等々、それなりの背景を持ちながらも、湯田温泉松田屋ホテルに一堂に会しました。八年前に同じ場所で鈴

木重靖先生と食事会を開催した同じメンバーがこの「定宿」に参集したのです。当日は生憎の激しい雨風

で、庭先のあの庵からは、西郷、木戸、大久保の囁きも聞こえませんでした。維新功労者達の囁きよりも、鈴木重靖先生との懐かしい思い出、そして卒業後半世紀を経験したゼミの仲間の体験談の方が、はるかに価値があるように思われました。良い食事、良い酒が起爆剤となり、場は大いに盛り上がり、話は尽きませんでした。

折しも四月二十七日は先生の百寿のお誕生日でしたね。皆で乾杯と献杯をしました。翌四月二十三日、コロナ禍で長きに亘り、お伺いできなかったお墓参りをさせていただきます。



鈴木重靖先生の墓前にて

一晩降り続いた雨が止み、鮮やかな新緑、静寂の大内御堀霊園で、先生のご冥福をお祈り申し上げました。先生とこの仲間たちとの一期一会に感謝、そしてゼミ仲間各位の健勝をお願い申し上げます。

どうぞお守りください。

合掌

帰路途中で上田鳳陽先生の墓にお参りをしました。素晴らしい学び舎に感謝、そして、良い仲間との邂逅に感謝し、手を合わせました。

当日は先生のご令嬢の重美様ご夫妻にお会いし、お墓参りの報告をさせていただきました。重美様から先生がとも家族を大切にする父親であり、幼い頃、榎野川によく魚釣りに連れて行ってもらったというお話を伺いました。大学では学問に厳しいイメージの先生でしたが、ご家庭、ご家族をととても大切になさっていたことを知り、先生の心温まるお人柄を改めて窺い知ることができました。

最後は皆で山口大学を訪問。授業終了のチャイムが鳴ると、一斉に学生たちが教

室から出て来て、次の講義を目指して移動するキャンパス内の多くの学生たちの姿、そしてその学生たちがまた各教室に吸い込まれていく姿、そしてキャンパスに直ぐにその静寂に戻る様子を見て、日本の将来を担う若い学生たちの息吹に触れたような気がしました。

有村経済学部長にご挨拶もできました。経済学部と学生をこよなく愛する教授で、さぞかし学生ファンも多いのではと感じました。二日間過ごした悠久のふるさと山口の温もりを携えて、仲間たちとの別れと再

会の約束を告げ、帰路に就きました。

令和七年五月

佐々木昭裕

(学23鈴木ゼミ幹事)

鈴木重靖先生

草々



鈴木重靖先生のお嬢様ご夫妻と

## 投稿 歓迎

当会では会員の皆さまからのご投稿を心よりお待ちしております。同窓会、ゼミ、クラブのOB・OG会、学生時代の思い出、催しのご案内等何でも結構です。投稿はメール、郵便で受付しております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

★1月15日号……(11月20日まで)

★5月15日号……(3月19日まで)

▽随感随想＝1000字程度

▽ひろば＝600字程度

▽本の紹介＝300字程度

▽支部・同期会だより＝600字程度

詩、短歌、俳句、写真など、  
皆さまの作品も大歓迎です。

## 本号の内容

通常総会報告	1	2
学園だより	3	
支部だより	4	10
同期会だより	10	
異学同根		
映画監督山田洋次を思う	11	
山大王なら何でもできる	12	
社会人1年目を終えて	13	
寄付お礼	14	
動静	14	15
鈴木重靖先生を偲ぶ	16	

## 事務局から

老朽化に伴い建て替えられた山口市役所の新たな庁舎で本格的な業務が5月7日より始まりました。

新庁舎のコンセプトは「白い鐘塔に佇む、ひとまち・未来にやさしい市民の丘」。サビエル記念聖堂と調和するデザインが特徴です。

解体される旧庁舎は、元々は教育学部の校舎で、1972年、吉田キャンパスへの移転に伴い、敷地と校舎を山口市が取得。1975年から50年間市庁舎として使用されてきました。

旧庁舎の跡地には、市民交流棟や立体駐車場が整備され、2027年秋にすべての施設が完成する予定です。